

3. 学校の小規模化が進むことによる課題（小規模校ヒアリング）

境町小中学校の望ましい学級数について検討を進めるため、小規模校3校の学校長へヒアリングを実施し、学校規模による学校運営上の利点や課題等を整理しました。現状としての小規模校におけるメリット・デメリット、及び今後児童生徒が減少した場合に予想されるデメリットについてまとめました。

○ヒアリング結果

【メリット（よさ）について、3校の共通事項】

- ・児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい
- ・意見や感想を発表できる機会が増える
- ・児童生徒相互の人間関係が深まりやすい
- ・異学年間の縦の交流が生まれやすい
- ・施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい

【デメリット（課題）について、3校の共通事項】

- ・1学年1学級の場合、学級間の相互啓発がされにくい
- ・クラス替えが困難なことから児童生徒の人間関係や相互の評価等が固定しやすい
- ・教員一人に複数の校務分掌が集中しやすい

【今後、児童生徒数が更に減少する場合のデメリット（課題）】

- ・学校行事や集団教育活動に制約が生じやすい
- ・集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある
- ・教員数が少ないため、経験・教科・特性の面でバランスのとれた配置を行いくい
- ・子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい
- ・PTA活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい

各学校では、学校運営の中で、これらの課題を解決するよう努めていますが、将来、児童生徒数が著しく減少した小規模校では、解決が困難な課題も多くあります。児童生徒数の減少が避けられない状況にあっては、学校の小規模化による課題を克服し、学びやすい学校規模とすることが重要です。